

※ 自彊前進…自ら努め励み、前に進むこと(校歌3番の文言から)

かみしめたい「平和」の意味

副校長 津野 庄一郎

今年のノーベル平和賞は、広島・長崎の被爆者の方々と連携し、国連での核兵器禁止条約の採択に尽力したNGOのICAN「核兵器廃絶国際キャンペーン」に贈られました。演説したのは、活動に協力してきたカナダ在住のサーロー節子さん(85歳)。13歳の時の広島での被爆体験を基にした悲痛な思いや訴えは、多くの人々に共感を与えました。

2学期の始業式で柳沼校長先生は、次のように皆さんへメッセージを伝えられました。「戦後70年が経過した今、世の中から戦争の記憶が薄れ、グローバル化とともに生じてきた紛争に見られるように、今、「戦争」というものが新たな問題として浮上つつあります。附属中学校のみなさんには、これからの世の中をリードする人間として、この困難な課題に対峙するための真正な判断力と知恵を磨き上げていってほしいと思います。」

未踏の時代といわれる今日だからこそ、あらためて皆さんと「平和」の意味をかみしめたいと思います。教育の目指すべき道は、自分の幸せだけでなく、世の中全ての人々の幸せを願い、知恵と勇気をもって、適切かつ具体的に行動する生き方であると考えます。

夏休みに行われた「広島平和記念式典派遣事業」(新潟市主催)に、附属新潟中から2人の生徒が自主的に参加しました。2年生の樋浦大翔さんと吉田健人さんです。過日インタビューしましたので、その内容を紹介します。

<津野> 「広島平和記念派遣事業」に参加しようと思ったのはなぜですか。

<樋浦> 広島平和記念式典の新聞記事を親が見つけてきてくれて、前々から広島や原爆というものに興味があったので参加しようと思いました。

<吉田> 友達に誘われたのと、ホームページを見て楽しそうだと思って応募しました。

<津野> いずれにしても、「百聞は一見にしかず」一歩踏み出す勇気は素晴らしいですね。具体的にはいつ、どこで、どのようなことをしてきたのですか。

<樋浦> 8月5日～8月7日の2泊3日の研修です。1日目は、広島の平和公園や本川小学校、広島平和資料館を見学しました。2日目は、午前平和記念式典に参列して原爆被害者証言のつどいに参加し、午後は、旧海軍兵学校を見学して、夜は灯籠流しに参加しました。最終日は、被爆体験者の講話を聞き新潟に戻りました。

<津野> 充実した研修であることがわかりました。ところで後日、報告会がありました。が、いつ、どこで、どんなことをしましたか。

- <吉田> 8月19日、万代市民会館のホールで一緒に参加した仲間と、テーマを決めて話し合ったことや考えたことをステージ上で話しました。原爆の悲惨さや平和の大切さについて、さまざまな視点から学びました。
- <津野> 一般市民の方にも活動内容を発信できたてよかったですね。今回の派遣事業を通して、どんなことを学んだのか聞かせてください。
- <吉田> 原爆は、人間をも溶かしてしまう兵器で、通常の爆弾にはない放射線による被害があり、今なお苦しんでいらっしゃるたくさんの方々がいるということがわかりました。戦争は繰り返してはいけないし、悲惨なものを繰り返してはならないと思いました。今日の体験を通して学んだことをさまざまな人に伝えたいです。
- <津野> 附中生をはじめ、大人に伝えたいことを聞かせてください。
- <吉田> 書物を読むだけでなく、実際に現地に行って見て、触れて、聞いてほしいです。戦争の悲惨さや平和の大切さを、書物を読むよりも深く学べると思います。
- <樋浦> 原爆がどのような被害を引き起こし、被爆した人が今どのような人生を送り、どのようなことを考えて今まで生きてきたのかということを伝えていきたいと思っています。また、核廃絶による世界平和への自分自身の気持ちを附中生や大人に伝えていきたいです。
- <津野> 座学ではなく、体験による知は深く心に残り、次の行動（アクション）のエネルギーになることと思います。また、他校の中学生との交流や新聞づくりも貴重な経験となりましたね。これからも、社会の諸課題について感性を研ぎ澄まし、自分なりの納得解を求めて学び続けてください。ありがとうございました。

「戦争と子どもの表現」展

柳沼校長先生の「戦争と子どもの表現」をテーマにした作品展示が間もなく終了します。皆さんご覧になったでしょうか。これは今年8月に新潟大学旭町学術資料展示室を皮切りにスタートさせたもので、2回目となります。校長先生が8年間かけて十日町市松之山の下川手集落で発掘調査した成果の一端です。今回は同時代のポーランドの子どもたちの作品も展示されています。これら比較してみていくと戦時中の日本の教育の特質が明瞭になるとと思います。保護者の方で、鑑賞をご希望の方は、スタッフルームⅠに立ち寄り、スタッフに一声かけてください。展示は12月22日（金）までです。

